

達成状況評価書(平成25年度)

部局名:言語文化研究科

項目	コメント
1. 教育 (大学の年度計画: 1~7)	<p>【年度計画の達成状況】 平成25年度は、積極的に取り組んでおり、計画は達成されていると判断できる。</p> <p>【特記事項】 平成25年度は、既存の大学院高度副プログラムを継続して開講するとともに、新規の大学院高度副プログラムの開講、知のジムナスティックス科目への研究科の58科目の提供、高学年次生の外国語教育を充実させるため、知のジムナスティックス科目への、共通教育外国語科目の上級科目(14科目)の提供のほか、日本語・日本文化専攻実践コースでは、専門領域に偏らない基礎知識を測るために専門領域の出題に加え2系域の基礎問題を解答させる入試システムに変更するなど、積極的に取り組んでおり、大学の実績として評価できる。</p> <p>また、「広域アジアものづくり技術・人材高度化拠点形成事業-カップリング・インターンシップによる実践形グローバル人材形成」の活動として、広域アジア地域へのインターンシップ派遣プログラムであるカップリング・インターンシップを本格的に開始するなど、積極的に取り組んでいる。</p> <p>【留意事項】 特になし。</p>
2. 研究 (大学の年度計画: 8~10)	<p>【年度計画の達成状況】 平成25年度は、積極的に取り組んでおり、計画は達成されていると判断できる。</p> <p>【特記事項】 平成25年度は、外国人教員を4名、外国人特任教員8名を採用するとともに女性教員については、5名採用するなど、大学の年度計画の達成に貢献している。</p> <p>また、基盤的研究を推進するため「言語文化共同研究プロジェクト」を18件立ち上げ、これらにRA経費や研究成果報告書出版の予算を配分しており、積極的に取り組んでいる。</p> <p>【留意事項】 特になし。</p>
3. その他 (大学の年度計画: 11~17)	<p>(1) 社会連携、社会貢献 (2) 国際交流</p> <p>【年度計画の達成状況】 平成25年度は、適切に実施しており、計画は達成されていると判断できる。</p> <p>【特記事項】 特になし。</p> <p>【留意事項】 特になし。</p>
4. 業務運営以降 (大学の年度計画: 18~30)	<p>【年度計画の達成状況】 平成25年度は、適切に実施しており、計画は達成されていると判断できる。</p> <p>【特記事項】 特になし。</p> <p>【留意事項】 特になし。</p>
5. 全体の項目に関する達成状況	<p>【中期計画の達成状況】 中期計画の達成に向けて、年度計画は順調に遂行されていると判断できる。引き続き、現行の取組を維持するよう期待する。</p> <p>【特記事項】 平成25年度は、高度副プログラムの開講、知のジムナスティックス科目の提供を行うとともに、入試システムの変更を行うなど、積極的に取り組んでいる。</p> <p>【留意事項】 特になし。</p>